

IMF、世界経済見通しを大幅に下方改定

～米関税政策に伴う米中経済への悪影響は大きい～

ポイント① 世界経済見通しを下方改定

IMF(国際通貨基金)は現地時間22日に、最新の世界経済見通しを発表しました。世界の実質GDP(国内総生産)成長率は、2025年は2.8%になる見込みで、前回1月時点の見通しから0.5%ポイント下方改定されました。また、今回の見通しについて、IMFは直近の米国と中国との報復関税が開始する前の、4月4日時点で入手可能な情報に基づいた参考予想であると位置付けました。

ポイント② 米国と中国の下方改定が目立つ

2025年の成長率見通しを主要国・地域別で見ると、米国は政策の不確実性の高まりや貿易摩擦などの影響を理由に、1.8%と前回見通しから0.9%ポイント下方改定されました。中国については、2024年に発表された財政刺激策が下支えするものの、米国の関税政策の影響を大きく受けることから、4.0%と前回見通しから0.6%ポイント下方改定されました。一方でユーロ圏は、ドイツを中心とした財政拡張政策が下支えし、米国の関税政策の影響を受けるものの、他の地域と比較し相対的に小幅な下方改定にとどまりました。

ポイント③ IMFは関税政策の緩和を求める

今回の見通しでは、多くの地域で成長率の下方改定が行なわれたほか、世界の貿易量についても、全ての地域で下方改定が行なわれました。一方でIMFは、各国が現在の関税政策を緩和し、新たな貿易協定を締結すれば、成長率見通しは直ちに改善するとも指摘しました。今後、世界経済の下振れリスクを低減させるためにも、IMFは各国に対し協調性をもった対話と、貿易体制の安定化を求めています。

国・地域別の実質GDP成長率見通し

	(前年比、%)		
	2024	2025	2026
世界	3.3	2.8 (-0.5)	3.0 (-0.3)
先進国	1.8	1.4 (-0.5)	1.5 (-0.3)
米国	2.8	1.8 (-0.9)	1.7 (-0.4)
ユーロ圏	0.9	0.8 (-0.2)	1.2 (-0.2)
日本	0.1	0.6 (-0.5)	0.6 (-0.2)
新興・発展途上国	4.3	3.7 (-0.5)	3.9 (-0.4)
中国	5.0	4.0 (-0.6)	4.0 (-0.5)
インド	6.5	6.2 (-0.3)	6.3 (-0.2)

(注)IMFによる予測

(注)()内は2025年1月時点見通しからの改定幅、ポイント。

(出所)IMF「World Economic Outlook, April 2025

(<https://www.imf.org/>)より野村アセットマネジメント作成

世界の貿易量（財およびサービス）

	(前年比、%)		
貿易量	2024	2025	2026
世界	3.8	1.7 (-1.5)	2.5 (-0.8)
輸入	2024	2025	2026
先進国	2.4	1.9 (-0.3)	2.0 (-0.4)
新興・発展途上国	5.8	2.0 (-3.0)	3.4 (-1.1)
輸出	2024	2025	2026
先進国	2.1	1.2 (-0.9)	2.0 (-0.6)
新興・発展途上国	6.7	1.6 (-3.4)	3.0 (-1.7)

(注、出所)上表と同じ

注目される経済指標など

4月30日 日本 小売売上高（3月）

4月30日 米GDP(1-3月期、速報値)

野村アセットマネジメントからのお知らせ

■ご注意

下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をご覧ください。

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

以下の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

2025年4月現在

ご購入時手数料 《上限3.85%（税込み）》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。 投資信託によっては、換金時（および償還時）に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用（信託報酬） 《上限2.222%（税込み）》	投資家がその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 * 一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 * ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。